

システム化企画 支援サービス

システム企画支援サービスの特徴

特徴 1 ユーザー主導型開発

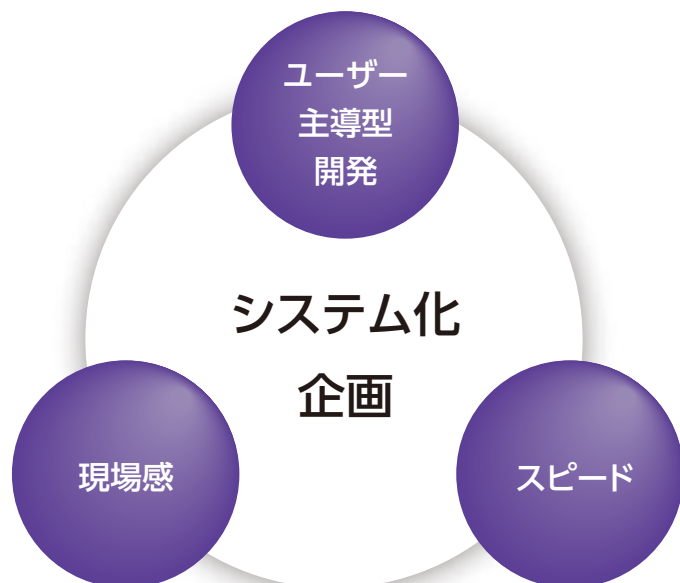
ベンダーロックインを回避し、ユーザー主体のシステム開発を一緒に進めます。

特徴 2 現場感

経営側のニーズと現場の実態を見える化し、現実解に落とし込みます。

特徴 3 スピード

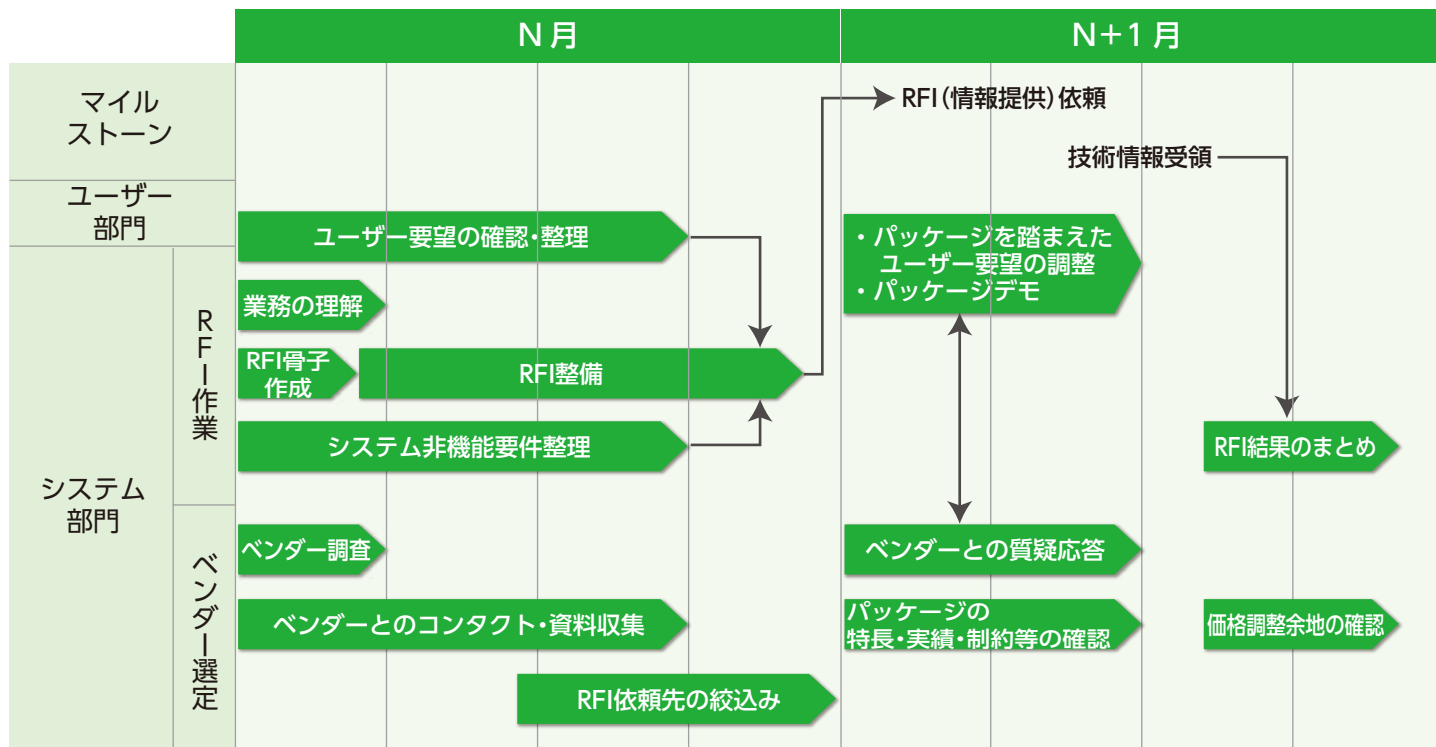
システム化企画（要件整理、RFI・RFP 作成、ベンダー選定等）の知見、ノウハウにより、プロジェクトを迅速に進めることができます。



次のような効果が期待できます!!

- ◆ 自社の環境に合った、適用技術やライフサイクルコスト等の比較検討が可能となります。
- ◆ 要件はユーザーに分かりやすい形式でまとめるため、社内の合意形成がスムーズに進められます。
- ◆ ベンダーとの交渉や社内調整にかかる時間が、大幅に短縮できます。

進め方(パッケージ導入のRFIイメージ)



事例: ユーザー主導型システム開発の体制作りとシステム化企画

プロジェクト概要

製造業における大規模物流センターの構築とそれを支える情報システムの再構築プロジェクト。ベンダーロックインから脱却し、ユーザー主導での開発体制を構築することで、情報システム部門の強化と開発コストの削減を図るねらいもあった。

顧客情報

業種 製造業 売上高 1,800億円 社員数 650名

支援内容

1. 要求仕様書(RFP)作成、開発ベンダー選定

ユーザー主導型開発方法論にもとづく要件整理、ベンダー候補の選定、提案評価、コスト交渉等

2. プロジェクトマネジメント支援、プロジェクトマネージャ育成

要件定義におけるベンダーマネジメント・体制整備・進捗管理・課題管理・要員管理・品質管理・リスク管理等のプロジェクトマネジメントの基本となる技術の提供と若手プロジェクトマネージャへのマンツーマン指導

成果

1. 未経験領域を実施可能領域へ

システム化企画から要件定義までの未経験領域を、ユーザー主導で実施できる領域に改革

2. 開発総コスト数億円削減

自社で要求を定義し、ジャストフィットの提案を採用したことで、大幅なコスト削減を達成

3. 次世代人材の育成

大規模案件を若手に任せ、プロジェクトマネジメント技術と経験を蓄積

クロスオーバーとは

クロスオーバーは、2003年1月、システム開発上流工程支援、ITコンサルティングを主に展開するため、日本能率協会コンサルティング(JMAC)が設立。JMACはじめ、日本能率協会グループの専門家の知見、ネットワークを駆使し、顧客に寄り添ったコンサルティングサービスを提供します。異なる価値をクロスオーバーさせ、新たな顧客価値創造をめざします。

